

問 3 三叉神経の運動支配を受けない筋はどれか。

1. 咬筋
2. 側頭筋
3. 口角下制筋
4. 外側翼突筋

問 10 食道の構造と機能について正しい組み合わせはどれか。

- a. 成人の食道の長さは約 25 cm である。
- b. 食道は 3 カ所の生理的狭窄部位を持ち、食道起始部は第 6 胸椎の高さである。
- c. 食道は、粘膜と筋層の 2 層からなる。
- d. 食道に分布する神経は交感神経と副交感神経である。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問 14 摂食嚥下障害の原因となる薬剤について正しい組み合わせはどれか。

- a. 第一世代抗ヒスタミン剤は意識レベルや注意力を低下させる。
- b. 骨粗鬆症治療剤は粘膜障害を起こす。
- c. 非ステロイド系抗炎症薬は唾液分泌低下に影響する。
- d. 制吐剤では錐体外路症状は起こらない。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問 19 オーラルフレイルについて正しいのはどれか。

1. オーラルディアドコキネシス (/pa/, /ta/, /ka/の発音速度) は口腔機能の評価に用いられる。
2. 舌圧測定は研究目的のみで、臨床的な予防や介入には役立たない。
3. オーラルフレイルは加齢に伴う自然現象であり介入しても改善は期待できない。
4. 予防には栄養管理が重要であるが、口腔機能訓練の効果は乏しい。

問 27 左被殻出血で出現しやすい症状として正しい組み合わせはどれか。

- a. 右片麻痺
- b. 言語障害
- c. 半側空間無視
- d. 左同名半盲

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問 31 神経筋疾患について正しい組み合わせを選びなさい。

- a. 重症筋無力症は急性増悪による球症状をおこす。
- b. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は体の感覚や自律神経、内臓機能は通常保たれる。
- c. ギランバレー症候群は進行性で回復しないことが多い。
- d. Hoehn-Yahr (ホーン・ヤール) の重症度分類IIでは、姿勢反射障害により食事姿勢が保持できない。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問 38 フィンク, S. L.の危機モデルの過程で第2段階はどれか。

- 1. 防衛的退行
- 2. 衝撃
- 3. 適応
- 4. 承認